

秋田県警交通指導課と能代警察署へ「感謝状」を贈呈

～交通事故偽装にかかる保険金詐欺事件で検挙～

日本損害保険協会東北支部（委員長：鈴木 恵子・東京海上日動火災保険株式会社 常務執行役員）では、この度、保険金詐欺事件で犯人を検挙した秋田県警察本部交通部交通指導課と能代警察署へ感謝状を贈呈しました。

11月21日（木）に秋田県損害保険防犯対策協議会総会の場で行われた贈呈式には、秋田県警察本部交通部交通指導課の 村形 征訓 課長補佐と能代警察署の 佐々木 宏樹 交通課長が出席し、秋田県損害保険防犯対策協議会の 嘉屋 次郎 会長（東京海上日動火災保険株式会社 秋田支店長）から、「粘り強い捜査により検挙され、損害保険事業の健全な運営に多大な貢献をいただいた」として感謝状が手渡されました。

本事件は、2023年8月に交通事故が発生したと虚偽の申告をして、保険金約200万円をだまし取ったものです。秋田県警交通指導課および能代警察署が共同捜査を行い、今年5月に2名が逮捕されました。

村形課長補佐および佐々木交通課長からは、感謝状の贈呈に対し謝意が示されるとともに、今後とも事件の検挙に向けて鋭意取り組んでいきたいとコメントがありました。嘉屋会長からは、保険金詐欺は巧妙・悪質化し、損保各社だけでは見抜くことが困難な事案も増えてきており、県警等関係機関の協力が必要であることから、引き続きの連携について依頼がありました。

当支部は、今後も警察等と連携しながら、不正請求の排除に向けた活動に取り組むことで、損害保険事業の健全な運営を行っていきます。



県警交通指導課への贈呈



能代警察署への贈呈